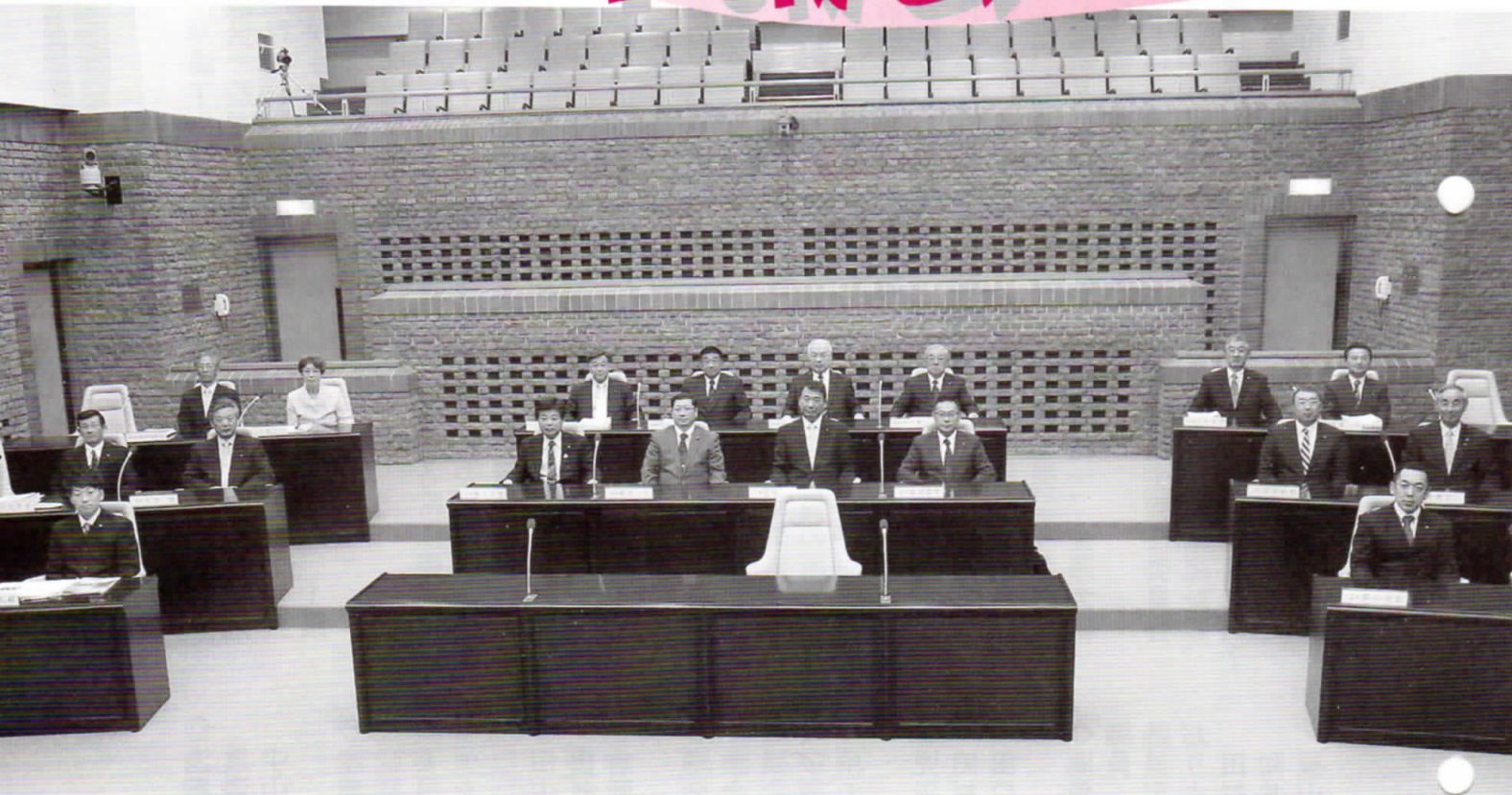




# がづの市議会だより



改選後初めて招集された議会（第2回臨時会）

このたび、議員改選後の議会におきまして、議員各位のご推挙により、議長、副議長の要職に就任させていただきましたことになりました。

この上なく、光栄に存じておりますとともに、責任の重大さを痛感いたしております。

現在、地域経済活性化への対応や雇用環境の改善、地域医療対策、少子高齢化、環境、限界集落対策、地域公共交通対策など、行政の各般にわたり諸課題が山積していることから、これらの課題を解決し、誰もが活躍できる社会を実現するため、自治体の果たす役割は、今後ますます重要なものになるものと認識しております。

住民の皆様からの多様なニーズに応え、さらなる住民福祉の向上のため、議会と執行機関が連携し、地域発展のために取り組んでまいりますので、今後も変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶いたします。

副議長  
兎澤 祐一議長  
宮野 和秀

就任あいさつ

平成29年第2回臨時会

# 新たな議会構成で市議会がスタート

新議長に 宮野 和秀氏、副議長に 兔澤 祐一氏を選出

任期満了に伴う、市議会議員一般選挙が3月12日に行われ、18人の新議員が決まりました。

市議会議員改選後初めての議会となる第2回臨時会が、4月11日開かれ正副議長をはじめとする新しい議会構成が決定しました。

また、市長より議案12件が提案され、いずれも原案のとおり承認・可決しました。

## 新しい議会構成

議長の選挙は、単記無記名投票により行われ、議長には宮野和秀議員が当選しました。

また、副議長の選挙も単記無記名投票により行われ、兔澤祐一議員が当選しました。

### ◆議長選挙

宮野 和秀 13票  
和井内貞光 3票  
白票 2票

### ◆副議長選挙

兔澤 祐一 13票  
田口 裕 4票  
白票 1票

また、各常任委員及び議会運営委員、鹿角広域行政組合議会議員については、次のとおり決定しました。

### ◇総務財政常任委員会

総務部、会計課、議会事務局、選挙管理委員会及び監査委員の所管に属する事項、並びに他の常任委員会の所管に属しない事項を審査します。

◎成田哲男○栗山尚記、宮野和秀、和井内貞光、兔澤祐一、金澤大輔

### ◇教育民生常任委員会

市民部、健康福祉部、教育委員会の所管に属する事項を審査します。

◎浅石昌敏○館花一仁、黒澤一夫、田口 裕、中山一男、戸田芳孝

### ◇産業建設常任委員会

産業部、建設部及び農業委員会の所管に属する事項を審査します。

◎田中孝一○児玉悦朗、田村富男、吉村アイ、倉岡 誠、児玉政明

### ◇議会運営委員会

議会運営、会議規則、委員会に関する条例等、及び議長の諮問に関する事項の調査を行います。

◎児玉政明○中山一男、田村富男、倉岡 誠、田口 裕、成田哲男

◇鹿角広域行政組合議会議員 鹿角市議会選出の議員定数は6名となっております。

田村富男、倉岡 誠、和井内貞光、成田哲男、栗山尚記、館花一仁

## 党派構成

4月1日現在、鹿角市議会の党派構成は次のとおりとなっております。

### ◆鹿真会・公明

◎田村富男、児玉政明、栗山尚記、黒澤一夫、兔澤祐一

### ◆清風会

◎中山一男、田中孝一、児玉悦朗、館花一仁、成田哲男

### ◆誠心会

◎倉岡 誠、浅石昌敏、宮野和秀

### ◆創生会

◎田口 裕、吉村アイ、和井内貞光

### ◆無党派

戸田芳孝、金澤大輔



教育民生常任委員会

戸田芳孝  
◎浅石昌敏  
黒澤一夫  
田口裕  
◎館花一仁  
中山一男



総務財政常任委員会

宮野和秀  
◎成田哲男  
金澤大輔  
和井内貞光  
◎栗山尚記  
兔澤祐一



議会運営委員会

成田哲男  
◎児玉政明  
田村富男  
倉岡誠  
◎中山一男  
田口裕



産業建設常任委員会

田村富男  
◎田中孝一  
児玉政明  
吉村アイ  
◎児玉悦朗  
倉岡誠

第1回定例会

平成29年度一般会計・各特別会計予算を可決

平成29年第1回定例会が2月2日(木)から2月23日(木)までの22日間の日程で行われ、議案33件が上程され、いずれも原案のとおり可決し、議員提出議案3件についても、原案のとおり可決しました。

第1回定例会に提案されました議案等の審議結果につきましては、10ページに掲載しております。

主な議案の審議内容

鹿角市歴史民俗資料館条例の制定について

**質問** 資料館に資料は何点あるのか。また、分類の状況について伺う。

**答弁** 資料点数がおよそ2200点あり、文化庁の民俗資料分類では20分類637種類と分類しております。歴史民俗資料館で展示するのは、2200点の

中から、花輪町部の商家の道具類といったものを中心に展示する予定としており、そのほかの資料は企画を変えながら展示してまいります。

平成29年度鹿角市一般会計予算について

**質問** 産業団地整備事業の土地購入費について、県の工業団地が持っているなか、この土地を取得する理由、対象企業についての考え等について伺う。

**答弁** 県の工業団地は農工法の補助金で整備した団地であり、誘致できる企業が製造業や製造業関連と限られていることから、情報通信や発電事業者など、あらゆる産業に広く企業誘致の間に口を広げるため、市で産業団地を整備し、常に企業誘致ができる体制とするものであります。

**質問**

鹿角花輪駅前整備事業について、今後の土地購入予定先について伺う。

**答弁**

駅前ロータリー隣接地とロータリー内のJR用地を3カ年で購入予定であります。現地はJRとバスなどの交通の結節点でありますので、広場を使用しながら整備を進めなければならぬ、単年度での整備はできないため、整備年度に合わせ用地を購入することとしております。

**議会へ提出された**

**請願・陳情審議結果**

平成29年第1回定例会では、陳情4件を審議しました。結果は次のとおりです。

**陳情**

《採択》

◆地域別最低賃金の引き上げと全国一律最賃制の実現、中小企業支援の拡充を求める陳情

◆「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める国

への意見書の提出を求める陳情

◆若い人も高齢者も安心できる年金制度改善と年金積立金の株式運用の見直しを求める国への意見書の提出を求める陳情

《不採択》

◆共謀罪（テロ等組織犯罪準備罪）法案の国会提出に反対する陳情

**議会から**

**関係機関への意見書**

2月23日の本会議において、議員より提出された意見書3件について、原案可決し、関係機関へ提出しております。

◆地域別最低賃金の引き上げと全国一律最賃制の実現、中小企業支援の拡充を求める意見書

◆「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める国への意見書

◆若い人も高齢者も安心できる年金制度改善と年金積立金の株式運用の見直しを求める意見書

**議会の映像をみることができます**

議会だよりには、会議の一部を掲載しております。本会議の様子は、インターネットからライブ中継や録画中継を視聴することができます。

また、各庁舎市民ロビーのテレビでも本会議を視聴することができます。

**誠心会**

(宮野和秀 議員)



**質問した項目**

- 6次総後期基本計画の推進について
- その他の地域課題について
- スポーツによるまちづくりの推進について

代表質問 誠心会

6次総後期基本計画の推進について

**問**

自ら策定した今後4年間の後期基本計画に責任を持つ意味でも、ぜひ引き続きリーダーシップを発揮していただきたい。4選への決意を伺う。

**答**

これまで培った行政ノウハウを最大限に発揮し、渾身の気力をもって任に当たらせていただき、皆さん一人ひとりに笑顔がふれ、仕事に、地域活動に、生き生きと取り組む、そういうまちを築き、将来の世代につなげていくため、引き続き市政の舵取り役を担わせていただきたく、4選に向けて出馬することを決意したものであります。

**問**

観光産業の振興について、広域観光の推進の取り組みについて伺う。

**答**

新年度は、本市を訪れる台湾からの観光客の増加を図るため、台湾からのチャーター便を積極的に誘致している岩手県空港利用促進協議会に加入し、花巻空港を拠点とした新たな広域観光ルートを構

築いたします。

あわせて、盛岡・八幡平広域観光推進協議会では、首都圏の旅行代理店を一堂に招いた観光商談会を初めて開催することとしておりますので、盛岡地域と一体となった売り込みを行うこととで、新しい広域観光ルートを含めた、本市を含めた滞在・周遊型観光の推進を図ってまいります。

**問**

地域社会を支える人材の育成について、新年度の取り組みを伺う。

**答**

新年度は新たに、学習の成果を地域に還元し、地域で活躍する人材の育成を目的とした「鹿角GENKIカレッジ」の開講を予定しており、オープンコース、専門コースを設けることとしております。

オープンコースでは、一般の方を対象に、多彩な内容による総合的な学習を行うほか、専門コースでは、高校生から青年層を対象として、より高度な技術の習得を目指し、3カ年の育成コースを設定する予定としており、専門講師を招いたワークショップや先進地視察などを行ってまいります。

## 産業力の強化について

**問** 農業の冬期間の収入確保対策はできないか伺う。

**答** 農業所得の向上を図るうえで重要な課題の一つであるため、平成26年度より、ホウレンソウや花卉などの冬期栽培に必要な加温設備や保温資材の購入支援を行っております。

平成27年度には、年末年始の需要が大きく冬期間の栽培にも適した啓翁桜の実証栽培に取り組んでおり、今後の作付拡大に期待を寄せております。

複合的な農業経営の進展により、通年型の営農に取り組む下地は整いつつありますので、今後も農業所得の拡大に向けた様々な支援策を積極的に展開してまいります。

## 働き方改革について

**問** 女性が活躍しやすい環境の整備について伺う。

**答** 就業しながら、教育機関等での再教育が受けられる「リカレント教育」といった教育機関のない本市においては、そうした取り組みへの支援も困難

であります。

市では今年度から産業活力塾を開講して、多彩な講師を招致しながら若者や次世代経営者のスキルアップを支援しながら、起業を含めた就労を促してまいりますと考えております。

また、女性のライフステージに応じた就労形態については、市内企業でも短時間勤務の就労体制を導入している企業もあり、こうした取り組みを積極的に促しながら、関係機関と連携して、女性が活躍しやすい環境を整備してまいります。

## 観光について

**問** インバウンドは「地方創生」の重要な柱と考えるが、今後のあり方について伺う。

**答** これまでタイや台湾ス活動が奏功し、平成28年度に本市を訪れた外国人観光客は7241人を数え、前年の5498人を大きく上回る結果となりました。

モニターツアーなどを通じて、本市の魅力を積極的に発信しながら、さらなる誘客拡大に取り組みでまいります。

## 代表質問 公明・鹿真会

公明・鹿真会  
(兎澤祐一 議員)



### 質問した項目

- 産業力の強化について
- 人材確保の取り組みについて
- 働き方改革について
- 観光について
- 災害対策について
- 教育施策について
- 安定的な水の供給を確保するために

## 鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

**問** 各プロジェクトについて市民が安心して暮らせるまちづくりの取り組みについて伺う。

**答** 「産業力強化プロジェクト」については「外貨」を獲得する産業を重点的に伸ばし、その資金を地域内で循環させることで、市民所得の向上と雇用の創出を図るものであります。

- 質問した項目
- 鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
  - 産業振興について
  - 教育執行方針について

## 創生会

(高杉正美 議員)



新産業の創出では、企業進出の動きが見られることから、新たに十和田インターチェンジ付近に産業団地を整備し、雇用の創出にも取り組んでまいります。

「みらい輝く人づくりプロジェクト」については、いつの時代でも地域を支えるのは「ひと」であり、人口減少下にあっても、「ひと」が元気で輝くことができれば、地域は持続可能との考えから、将来の鹿角を支える子どもたちの育成、産業人材の育成、地域人材の育成を図ってまいります。

## 産業振興について

**問** かづの観光物産公社を日本一のプラット

フォームにするべきと考えるが、考えを伺う。

**答** かづの観光物産公社は、観光と物産の両面を推進するプラットフォームとしての機能を有しておりますが、物産振興に対し、観光振興に対する取り組みが脆弱な状況にあったことから、今年度は外部から新たに支配人を迎え入れ、改革を進めているところであります。

大都市圏の旅行代理店に対して、本市への観光客誘客に必要な営業活動を実施することができ体制を構築することで、同社が、鹿角観光のプラットフォームであることを認知していただくような取り組みを進めてまいります。

## 代表質問 創生会

かづの経営戦略強化予算について

**問** 生徒確保の観点から特徴ある高校づくりの一つとして、学校給食施設整備とあわせて市内高校へ給食を提供ができないか伺う。

**答** 将来を見据えた必要最小限の機器整備を予定しておりますので、現時点で市内高校への給食の提供は考慮しておりません。  
**農業振興について**

**問** 平成30年から始まる生産調整廃止後の主食用米生産の見通しと、地域とも補償事業の取り組みについて伺う。

**答** 米の生産については地域と生産者の判断に委ねられることとなり、需要に応じた生産を継続することが重要となります。県から米の需要や在庫の動向を踏まえた県全体としての適正な生産数量を「生産の目安」として提示しながら、農家に需要に応じた生産を求めるとしております。  
地域とも補償制度につきましては、生産調整を行ってきた農家にとっては加入

するメリットがなくなり、制度が成り立たなくなることから、生産調整制度の見直しとともに終了することとしております。

**問** 地理的表示保護制度に、かづの牛や松館しほり大根等で取り組む考えはないか伺う。

**答** この制度は、気候や風土などの生産地の特性を生かしつつ、高い品質や評価を獲得するに至った産品についてその名称を保護する制度であり、市内では松館しほり大根の生産者団体による申請が行われていると伺っております。

スポーツ振興について

**問** 花輪スキー場のローラーズコース沿いの畑等で、耕作放棄地となつているところが見受けられ、対策が必要と思うが考えを伺う。

**答** コース沿いの樹木や雑草が目立つようになり、選手の安全面に配慮する必要もありますので、地権者に対して環境の整備をお願いするとともに、市としても大会に向けて伐採等を行うなど景観改善に努めてまいります。



児玉 政明 議員  
(公明・鹿真会)

質問した項目  
■市長の政治姿勢について ■かづの経営戦略強化予算について  
■農業振興について ■スポーツ振興について

地域おこし協力隊について

**問** 新年度からの2名の増員について伺う。

**答** 今年度の移住に関する問合せ件数は、既に190件に達しており、市のプログラムを活用した移住者数についても昨年度の2倍を超える状況であることから、移住後のフォローアップや定住につながるサポート体制の充実を図るため、新年度から新たに2名を加えた6名体制で活動する予定としております。

後期基本計画では、移住者の目標人数として平成32年には710人と設定しており、この指標の達成を目指し、新年度からは、移住者向け生活資金の融資に係る利子補給、SNSを活用した情報発信の拡充や首都圏での移住フェアのほか、お試し移住ツアー参加者へのダイレクトな情報提供などにより、引き続き移住者の増加につながる施策を展開してまいります。

**大日堂舞楽伝承事業について**  
**問** 現在の伝承事業進捗状況について伺う。

**答** 保存伝承施設の建設につきましては、八幡平市民センターの改築時に、市民センターへの併設計画で保存会と協議をしておりますが、新しい市民センターの建設場所が長嶺地区となったことから、改めて検討、協議を行った結果、新たな施設建設は課題が多いため、後期基本計画への登載は見送っております。

**問** 保存伝承事業を市長部局で考えられないか伺う。

**答** これまで、祭祀具の補修や舞の練習など保存会に対して支援を行ってまいりました。

観光面での取り組みとしては、1月2日の大日堂舞楽に合わせ、シャトルバスを運行し、より多くの方々から大日堂舞楽を観覧いただけるよう環境を整備しております。

しかしながら、観光目的としての考え方は、これまでの保存会との協議の中では、出されておられませんので、文化財の保存と伝承という本来の目的を達成していくため、引き続き、教育委員会が取り組みを進めてまいります。

**米の生産調整廃止への取り組みについて**

**問** 国の方針は土地の集積・大規模化の方向となっているが、規模の大小にかかわらず混在した多様な地域づくりをするべきと考えるが所見を伺う。

**答** 中間管理機構等を活用して、地域の担い手に農地集積を進めるほか、複合型農業につきましては、収益性の高い作物の作付けの支援やブランド産品の育成と強化を図るとともに、農業構造改革ビジョンの確実な実行により、持続的、かつ、発展性のある農業経営の確立と農業所得の向上に取り組みでまいります。

**十和田地区の交通環境について**

**問** 高齢者が増え、免許返納者の増加が見込まれる中、安心して暮らせる交通環境の整備が求められているが、どのように取り組んでいくのか伺う。

**答** 重複路線の解消や公共交通空白地域の移動手段を確保するため「鹿角市地域公共交通網形成計画」を策定しておりますが、

本市公共交通が抱える課題解決に向けて、平成30年度にバス路線の再編を実施することとしております。

**地元小売業者と大手業者とのあり方について**

**問** 小売業者が主体であった市の発注事業の入札に、最近大手業者が入り、地元業者が仕事を取れないということが起きています。「地元小売業者を守るまちづくり」という視点が必要と考えるが所見を伺う。

**答** 平成26年度から公募型見積り合わせを導入し、従来は随意契約として行っていた小規模な案件についても公募により行うことで、公正性と透明性をより一層確保した形で、調達業務を執行しているところであります。

その結果、本年度の市内に店舗のある大手業者契約実績は34件中4件のみとなっており、約9割は地元業者への発注となっていることから、公募型見積り合わせの導入は、地元業者にとっても入札への参加と受注機会の拡大が図られることのメリットの方が大きいものと考えております。



田口 裕 議員  
(創生会)

**質問した項目**

- 米の生産調整廃止への取り組みについて
- 農業法人・集落営農組織への対応について
- 水田環境の維持管理について
- 水田の病害虫対策について
- 拠点直売所の設置について
- 十和田八幡平国立公園二次アクセスについて
- 十和田地区の交通環境について
- 交通弱者対策について
- 地元小売業者と大手業者とのあり方について

**企業誘致と空き工場等を活用した産業振興への取り組みについて**

**問** 企業立地促進条例や市長のトップセールス等を展開して取り組みを進めているが、その成果についてどのように評価をしているか伺う。

**答** 条例に基づく事業の拡大や高度化につながる設備投資への支援については、平成23年から平成27年までの5年間で、14社に対し2億4069万円を助成しており、助成企業の売上高は31%の増、従業員数についても178人増加し、地元企業の成長と雇用の確保に一定の成果があったものと捉えております。



黒澤 一夫 議員  
(公明・鹿真会)

**質問した項目**

- 企業誘致と空き工場等を活用した産業振興への取り組みについて
- 鹿角特産品の生産拡大と販売促進策について
- 「楽天イーグルスかなやまスタジアム鹿角」尾去沢城山野球場の駐車場の増設について
- 土床式体育館の整備(新設)について
- 市有財産の今後の有効活用への取り組みについて
- 農業振興への取り組みについて
- 花輪スキー場の通年の賑わいづくりについて

一方で、「雇用の安定」のための施策の充実を求める意見が最も多い状況には変わりがなく、これまで以上に積極的な企業誘致とともに、引き続き地元企業の生産性の高度化を支援し雇用の確保と市民所得の向上を図ってまいります。

**鹿角特産品の生産拡大と販売促進策について**

**問** 北限の桃生産農家は増えているのか伺う。

**答** 市が支援を開始した平成12年度は栽培戸数64戸、栽培面積5・0ヘクタールでありましたが、今年度は栽培戸数167戸、栽培面積66・4ヘクタールとなっており、戸数・面積ともに増加しております。

**尾去沢城山野球場の駐車場の増設について**

**問** 試合・大会開催の間帯に、路線バスが道路へ駐車している車のため、不便をきたしている状況がしばしば見受けられる。駐車場のスペース確保が必要と考えるが、対応について伺う。

**答** 駐車場は球場入口正面と1塁側に約60台分あるほか、雇用促進住宅裏側の市の土地に約80台分ございますので、駐車スペースは十分確保できているものと考えております。しかしながら、小・中学校の大会開催時には、路上駐車が見受けられますので、案内看板の設置や試合中のアナウンスなどにより駐車場所に誘導するなどして、路上駐車のを防止を徹底してまいります。

**熊から本市の生活文化である里地里山の安全を取り戻す対策について**

**問** 平成28年度の捕獲頭数は何頭か。また、地区別と月単位の頭数を伺う。

**答** 平成28年度の有害駆除の捕獲頭数は53頭となっており、昨年度と比較しますと約5倍になっております。

鹿角市猟友会の支部別では、十和田大湯・錦木地区が12頭、その他の十和田地区が1頭、花輪・尾去沢地区が10頭、八幡平地区が30頭となっており、中でも八幡平地区の捕獲頭数が特に多くなっております。

月単位では、8月の16頭が最も多く、桃・リンゴ等への被害が集中する7月から9月にかけては、昨年と比較して捕獲頭数では14倍にも達しております。

**問** 本年度中に設立予定の鳥獣被害対策協議会とはどのような組織なのか。また、新年度の熊被害防止対策はどのようなものか伺う。

**答** 鳥獣被害対策協議会は、米代東部森林管

理署、秋田県鹿角地域振興局、鹿角警察署、鹿角市猟友会、かづの農業協同組合などに、本市を加えた9つの機関で構成し、鳥獣被害に関する情報共有を図り、被害防止対策及び有害駆除に関する意思統一を、迅速かつ効果的に行うことを目的として、平成28年度内の設置を予定しております。

また、新年度の熊被害防止対策につきましては、新年度も引き続き予断を許さない状況にあると捉えており、春の早い時期から市民へ注意を促していくとともに、協議会構成団体と協力して、被害防止に万全の態勢で臨んでまいります。

特に、十和田高原地区においては、昨年、熊による連続死亡事故が発生しており、未だその脅威が拭い切れていないと考えておりますので、隣接する市町村や関係機関と連携し、広報等により入山しないよう呼び掛けていくほか、引き続き周辺市道等の通行止めや入山禁止看板の設置を行うなどの対策を講じてまいります。

宮野 和秀 議員  
(誠心会)



質問した項目

- 熊から本市の生活文化である里地里山の安全を取り戻す対策について
- 大湯宇田代平地区に計画している土捨場について

**里帰り出産について**

**問** 昨年12月に中止の旨の文書が届いたとのことだが、その経緯について伺う。

**答** 昨年12月27日、かづの厚生病院あてに、秋田大学、弘前大学、岩手医科大学の産婦人科教授4名の連名で「平成29年1月から厚生病院での里帰り出産の受入れを中止し、大館市立総合病院を紹介する」という内容の文書が届いた旨の報告を受けました。

その理由としては「産婦人科医が慢性的に不足し体制の維持が難しい状態にある中、妊娠途中からの診察となる里帰り出産はリスクが大きいため、産婦人科医が多く、設備が整っている大館市立総合病院に対応を集約する」とのことでした。

今回、里帰り出産の受入中止の文書が届いたことは、突然の話であったとのことでありました。

今年1月18日に、厚生病院の院長と、厚生病院の運営母体である秋田県厚生連の専務が秋田大学を訪問し、方針の撤回を求めましたが、里帰り出産の受入中

止を1月から2月に延期できたのみで、方針の撤回には至りませんでした。

**問** 妊婦はもとより家族にとっても安心して出産できる里帰り出産を復活させるために今後の市の対策と取り組みについて伺う。

**答** 今後、本市を含む大館・鹿角地域の産婦人科医療の状況、各大学の産婦人科医局の状況を踏まえ、大学や県、大館市、小坂町等関係機関と意見交換しながら、安心して出産できる体制づくりについて検討してまいります。

**問** 子供の貧困対策について子供の進路について経済面の不安がある家庭はどれくらいあるのか伺う。

**答** 昨年10月末に無作為で抽出した18歳までの子どもがいる方1000人を対象に実施した子どもの生活に関するアンケート調査では、504人の方から回答を得ておりますが、進学に関して心配なこととして経済的な理由を挙げられた方は68・5%でありました。

## 総務財政

ます。

◇「平成29年度一般会計予算」中、一般財源の自主財源の割合について「では、計画に追加される「廃止代替路線バス購入事業」の概要についてただしてお

ります。これに対し、廃止代替路線で使用する車両を購入するもので、市がバスを購入し、運行を委託する事業者へ貸与するものであるとの答弁がなされております。

◇「鹿角市大湯財産区管理会条例等の条例の制定について」では、財産区の解散に伴い、基金の用途についてただしてお

ります。これに対し、財産区の解散に際し、区民説明会や管理会において、財産区の財政調整基金については、現在進めている（仮称）湯の駅におおゆの整備に係る財源として使用してほしいとの申し出を受けていることから、整備費に充てる予定であると答弁がなされてお

## 教育民生

いるとの答弁がなされております。

◇「鹿角市歴史民俗資料館条例の制定について」では、特別展示室の利用料金はどのような基準で設定したのかただしてお

ります。これに対し、特別展示室の利用は、現在市民センターを利用されている市民団体等が多くなるものと想定していることから、市民センターの利用料金を参考に、同等の料金設定をしたものであるとの答弁がなされてお

ります。委員からはさらに、資料館の管理運営については指定管理者制度を導入することだが、公募にあたり、全国的に公募をするのか、または地域に限定して公募するものかただしてお

ります。これに対し、指定管理者の公募等は5月以降に開始する予定だが、公募要件等の具体的な内容についても、今後検討していくこととして

## 産業建設

がら、起債残高についても圧縮していきたいとの答弁がなされてお

ります。◇「平成29年度一般会計予算」中、「周年園芸普及拡大対策事業」の内容及び目的についてただしてお

ります。これに対し、事業内容については、冬期に園芸作物を新規、あるいは拡大して施設で栽培する農業者、法人に

対して、設備投資費用や保温資材等の費用を助成するものである。また、事業目的については、本市のような寒冷地では、冬期間に農業の実施と収入拡大が大きな課題であると

考えており、冬期でも比較的取り組みやすい施設での園芸作物栽培を拡大することを目的に補助事業を実施していきたい。なお、平成29年度の支援対象品目は、金魚草やストックという花卉やネギ、啓翁桜であるとの答弁がなされてお

【第1回定例会において審議した議案の審議結果】		審議結果
件名		
[市長提出]		
◇平成28年度鹿角市一般会計補正予算(第8号)		原案可決
◇鹿角市過疎地域自立促進計画の変更について		原案可決
◇鹿角市下水道事業特別会計への繰入れについて		原案可決
◇鹿角市農業集落排水事業特別会計への繰入れについて		原案可決
◇職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について		原案可決
◇職員の育児休業等に関する条例の一部改正について		原案可決
◇一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について		原案可決
◇鹿角市市税条例等の一部を改正する条例の制定について		原案可決
◇鹿角市歴史民俗資料館条例の制定について		原案可決
◇鹿角市企業立地促進条例の一部改正について		原案可決
◇鹿角市大湯地区温泉条例の制定について		原案可決
◇鹿角市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について		原案可決
◇鹿角市道路占用料徴収条例の一部改正について		原案可決
◇鹿角市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について		原案可決
◇鹿角市水道事業給水条例の制定について		原案可決
◇鹿角市大湯財産区管理会条例等を廃止する等の条例の制定について		原案可決
◇平成28年度鹿角市一般会計補正予算(第9号)		原案可決
◇平成28年度鹿角市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		原案可決
◇平成28年度鹿角市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)		原案可決
◇平成28年度鹿角市下水道事業特別会計補正予算(第2号)		原案可決
◇平成28年度鹿角市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)		原案可決
◇平成28年度鹿角市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)		原案可決
◇平成28年度鹿角市大湯財産区特別会計補正予算(第1号)		原案可決
◇平成28年度鹿角市上水道事業会計補正予算(第2号)		原案可決
◇平成29年度鹿角市一般会計予算		原案可決
◇平成29年度鹿角市国民健康保険事業特別会計予算		原案可決
◇平成29年度鹿角市後期高齢者医療特別会計予算		原案可決
◇平成29年度鹿角市介護保険事業特別会計予算		原案可決
◇平成29年度鹿角市下水道事業特別会計予算		原案可決
◇平成29年度鹿角市農業集落排水事業特別会計予算		原案可決
◇平成29年度鹿角市上水道事業会計予算		原案可決
◇平成28年度鹿角市一般会計補正予算(第10号)		原案可決
◇平成29年度鹿角市一般会計補正予算(第1号)		原案可決
[議員提出]		
◇地域別最低賃金の引き上げと全国一律最賃制の実現、中小企業支援の拡充を求める意見書の提出について		原案可決
◇「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の提出について		原案可決
◇若い人も高齢者も安心できる年金制度改善と年金積立金の株式運用の見直しを求める意見書の提出について		原案可決

## 傍聴席から一言

吉村議員の一般質問について  
里帰り出産の問題にとどまらず  
地域医療さらには移住促進等  
を含めた深い問題提起をして  
いただきました。

大学病院、医局の意向は、大  
きな流れの中で正しいものであ  
って、各自治体が止めることは  
できない。とすれば、自治体病  
院の開設に踏み出すべきなので  
はないか。産科、精神科、訪問  
診療を中心にするれば、今の市  
財政状況であれば維持は可能と  
考えます。

(花輪地区 男性33才)

## 編集後記

これまで、皆様に市議会の活  
動をわかりやすく、親しみやす  
い内容となるようお伝えしてき  
ました。が、いかがだったでし  
ょうか。

昨年から18歳選挙権となる改  
正公職選挙法が施行され、これ  
から若い人たちの市政への関心  
を期待しております。

幅広い世代にわかりやすい内  
容で、この市議会だよりを手に  
取って読んでいただけるとよう  
に、議会として、これからも努  
力してまいります。

(館花 一仁)